

平成24年度 第7回理事会

日 時 平成24年11月20日（火） 15:30～

場 所 特別会議室

I. 議 題

1. 退職手当の支給水準等改定について
2. 平成25年1月期研究職員の採用について

II. 報 告

1. 平成24年度森林農地整備センター新規採用者の内定について
2. 冬期の節電目標について
3. 農用地総合整備事業「美濃東部区域」の完工式について
4. その他

資 料

- I-1 退職手当の支給水準等改定について（案）
- I-2 平成25年1月期研究職員募集のお知らせ等
- II-1 平成24年度森林農地整備センターの一般職員募集について
- II-2 今冬の節電への取組について
- II-3 農用地総合整備事業「美濃東部区域」の完工式について
- II-4 主要行事（2012年10月10日～11月19日）

退職手当の支給水準等改定について（案）

I 趣旨

国家公務員の退職給付における官民較差（平均402.6万円）の解消を図るため、国家公務員の退職給付の給付水準の見直し等のための国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律が11月16日に成立したところである。

非特定独立行政法人の退職手当の支給基準は、独立行政法人通則法第63条に基づき、社会一般の情勢に適合したものとなるように定められなければならないとされている。このため、国家公務員退職手当法等の内容に沿って改定を行うこととする。

II 内容

1 民間との支給水準の均衡を図るための退職手当の支給水準の引下げ

退職手当の基本額に係る「調整率」を、次のとおり段階的に引下げる。

期 間	調 整 率
現行	104 / 100
平成25年1月1日～平成25年9月30日	98 / 100
平成25年10月1日～平成26年6月30日	92 / 100
平成26年7月1日以降	87 / 100

（調整率は、退職理由及び勤続年数にかかわらず、全ての退職者に適用する。）

2 早期退職募集制度の導入

年齢別構成の適正化を通じた組織活力の維持、組織の改廃・事務所移転の円滑な実施を図る観点から、早期退職募集制度を導入する。

理事長が、年齢、職位等を特定して早期退職募集を行い、職員が応募し認定を受けて退職した場合、法人側都合による退職として退職手当を算定するとともに、3の措置の対象とする。

3 定年前早期退職特例措置の拡充

(1) 適用対象年齢の下限

50歳（定年前10年）から45歳（定年前15年）にする。

(2) 割増内容

定年前1年につき一律2%割増（最大20%）を、定年前1年につき3%を上限とした割増とする。

上記2及び3については、法律に係る政令で定める日と同日から実施。

平成 25 年 1 月期研究職員募集のお知らせ

独立行政法人森林総合研究所では、下記のとおり研究職員の募集を行います。
なお、森林総合研究所では男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募をお待ちしています。

記

- 1 採用予定職／人員
研究職員／5 名
- 2 採用予定の試験研究機関名、各配属研究領域・待遇、研究業務内容
別表「研究職員公募一覧」のとおり
- 3 応募条件
 - (1) 平成 25 年 1 月 1 日現在で、博士の学位を有する者
 - (2) 試験研究職員として特別な知識、能力又は技術を有する者
別表「研究職員公募一覧」の研究内容のとおり
- 4 採用条件
給与：独立行政法人森林総合研究所職員給与規程による
- 5 提出書類
 - (1) 履歴書（市販の J I S 様式又はこれに準拠するもの。高等学校卒業以降を記入）
注 1）メールアドレスがあれば必ず記載して下さい。また、写真は必ず添付して下さい。
2）森林総合研究所では次世代育成支援を推進しています。育児又は介護による研究中断期間のある方は、性別にかかわらず履歴書にご記入下さい。
 - (2) 学位授与証明書又は修了見込証明書
 - (3) 研究業績目録（森林総合研究所 HP に掲載の書式又はこれに準拠して、主たる研究業績の背景、方法、成果及び評価の解説を付記すること）
森林総合研究所採用情報 HP アドレス：<http://www.ffpri.affrc.go.jp/saiyou/index.html>
 - (4) 主要論文 3 報のコピー各 1 部（A4 版）
 - (5) 研究を行うに当たっての抱負（A4 版 1 枚程度）1 部
 - (6) 応募者についての意見を求め得る方 2 名の氏名、所属と連絡先電話番号
 - (7) 宿舍貸与希望の有無（希望する場合は、独身・単身・世帯を明記すること）
- 6 応募書類の提出先
封筒に朱書きで「選考採用応募書類在中」と「応募 No.」（研究職員公募一覧を参照）を必ず明記のうえ、下記まで送付のこと。なお、提出された書類は返送致しませんのでご了承下さい。
＜送付先＞ 〒 305-8687 茨城県つくば市松の里 1
独立行政法人 森林総合研究所 総務部 総務課 人事係
- 7 応募締切
平成 24 年 11 月 29 日（木）（必着・締切日厳守）
- 8 選考採用試験
 - (1) 書類審査 平成 24 年 12 月上旬
 - (2) 面接試験 平成 24 年 12 月中旬
- 9 採用時期
平成 25 年 1 月 1 日
- 10 問い合わせ先
〒 305-8687 茨城県つくば市松の里 1 独立行政法人森林総合研究所 総務部総務課
海老原（課長補佐）・清水（人事係長） Tel：029-829-8155 又は 029-829-8156
E-Mail：jinji@ffpri.affrc.go.jp

研究職員公募一覧(平成25年1月期)

応募 No	試験研究機関名	配属研究領域等	待 遇	研究課題名	研究内容	応募条件等
1	森林総合研究所	立地環境研究領域	研究職員 独立行政法人森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	森林土壌の多面的機能発揮のための物質動態の解明に関する研究	地球温暖化や放射性物質の動態解明には土壌の分布や性質が重要な鍵を握っており、森林土壌が有する多面的機能の解明が求められている。 国内外の森林土壌を調査・分類し理化学性を分析することによって、土壌有機物の分解・蓄積メカニズム、放射性物質等の動態と土壌特性との関係を解明する。	①平成25年1月1日現在で博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③森林土壌に関する広範な知識を有し、国内および国外の土壌調査の十分な経験がある者 ④土壌の理化学分析に関する技術を有する者 ⑤勤務地:本所(つくば市)
2	森林総合研究所	森林昆虫研究領域	研究職員 独立行政法人森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	森林昆虫等の生態系サービスを持続的に利用するための生物多様性保全・活用手法の開発	森林・林業再生プランでは木材生産と生物多様性とその機能の保全・活用を調和させた森林管理が強く求められている。 森林昆虫等が提供する生態系サービスの定量化手法とランドスケープレベルでの評価手法を開発するとともに、種間相互作用や森林施業等の影響を考慮した生物多様性と生態系サービスの保全・活用手法を開発する。	①平成25年1月1日現在で博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③森林昆虫等が担う生態系サービスについて十分な知識と野外調査の技術を有する者 ④景観生態学・個体群生態学・群衆生態学の知識と手法に習熟した者 ⑤勤務地:本所(つくば市)
3	森林総合研究所	構造利用研究領域	研究職員 独立行政法人森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	木造建築物の安全性向上のための木質構造要素の開発	公共建築物等の木造化や木質内装化の促進が期待される中、木造建築物の構造安全性の向上や木質部材の活用に関わる研究を推進し、その成果を木造公共建築物の設計規準等へ反映させることが必要である。 木造建築物用の高強度壁・床パネルおよび接合部等の構造要素の設計開発とともに、新たに開発した木質構造要素の耐震性・耐久性などの構造安全性に関する実証的な研究を行う。	①平成25年1月1日現在で博士の学位を有する者 ②建築の知識に基づいて、木造建築物の構造要素の設計開発を行い、その構造安全性の向上を図る研究を担える者 ③木造建築物に関する法律・規格等及び設計・施工の基本的知識を有する者で、研究成果を国産材需要拡大に向けた政策に反映させることができる者 ④勤務地:本所(つくば市)
4	森林総合研究所	四国支所	研究職員 独立行政法人森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	地域に対応した新しい森林資源管理および林業経営技術の開発	森林・林業再生プランで求められている林業の地域資源創造型産業への再生のために、森林資源および森林経営の分析により、地域での新しい森林資源管理および林業経営技術の開発に関する研究を行う。	①平成25年1月1日現在で博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③森林資源管理および森林経営、林業技術に関する知識を有する者 ④資源・統計解析およびコスト分析に関する技術を有する者 ⑤勤務地:四国支所(高知市)
5	森林総合研究所	林木育種センター 遺伝資源部	研究職員 独立行政法人森林総合研究所職員給与規程に基づき決定	林木遺伝資源の評価・保存技術の開発	森林の遺伝的多様性を確保するための効率的な収集・保存が求められており、林木遺伝資源の生息域内外の保存の現状を各樹種の地理的分布や遺伝変異により検証するとともに、地球温暖化にも対応した体系的な林木遺伝資源の保存手法の開発を担う人材を確保する必要がある。 森林の生息域内遺伝資源を効果的に保全するために、林木の分類情報、樹種毎の分布状況、遺伝資源の保存状況及びDNA分析による地理的遺伝変異の状況を解析し、これらの情報をシステム化した遺伝的多様性の評価・保存技術を開発する。	①平成25年1月1日現在で博士の学位を有する者 ②全国規模の転勤が可能な者 ③DNA変異の解析技術及び樹木分類と生態の知識を有する者 ④総合的な遺伝的多様性保全の研究が行える者 ⑤勤務地:林木育種センター(日立市)

平成24年度 森林農地整備センターの一般職員募集について

平成20年から実施していた雇用対策について、一定の目途がついたことから、職員採用を再開し、平成24年9月1日付採用及び平成25年4月1日付採用の試験を次により実施

1 平成24年9月1日付採用募集

募集案内については、4月27日から当センターのホームページへ掲載するとともに、関係大学へ募集案内を通知を行い、また、直接大学の訪問するなど周知を図った

- (1) 応募資格
昭和60年4月2日以降に生まれた者で、森林・自然環境系の学科（林学、生物資源環境学等）を専攻又は履修した者（卒学者）
- (2) 募集期間
平成24年4月27日～6月8日
- (3) 選考方法
 - ① 一次試験 平成24年7月1日（日）
センター本部及び各整備局の各試験会場において、受験基礎能力試験、専門試験、論文試験を実施
 - ② 二次試験 平成24年7月22日（日）
センター本部において、個別面接を実施し、平成24年9月1日付けで4名を採用

2 平成25年4月1日付採用募集

募集案内については、7月6日から当センターのホームページへ掲載するとともに、関係大学へ募集案内等など前回と同様な取り組みを実施

- (1) 応募資格
昭和57年4月2日以降に生まれた者
森林・自然環境系の学科（森林科学、生物資源環境学等）を専攻又は履修した者（卒業者又は卒業予定者）
※国家公務員試験合格者（Ⅰ種試験、総合職試験、一般職試験）については、一次試験を免除
- (2) 募集期間
平成24年7月6日～8月31日
- (3) 選考方法
 - ① 一次試験 平成24年10月6日（土）
センター本部及び各整備局の各試験会場において、受験基礎能力試験、専門試験、論文試験を実施
 - ② 二次試験 平成24年11月10日（土）
センター本部において、個別面接を実施し、4名を内定

今冬の節電への取組について

このことについて、農林水産省から要請がありましたので、下記により節電対策を行うこととします。

記

- １）照明の節電（昼休みの消灯、離席の際はこまめに消灯等）
- ２）パソコン等の身の回りの電気機器の節電
- ３）ウォームビズの実行（暖房時の室温１９℃の設定・太陽光を取り入れるためブラインドの活用・服装の工夫等）

※北海道電力管内の事業所は、数値目標が設定されていますので、より一層の節電対策を行ってください。

（参考）政府の節電目標・期間

- １）北海道電力管内（北海道支所、北海道育種場、東北北海道整備局の事務所）

①平成２２年度の使用最大電力値(kW)から ７％以上の節電

期間：１２月１０日(月)～１２月２８日(金)の平日 １６：００～２１：００

１月 ７日(月)～ ３月 １日(金)の平日 ８：００～２１：００

３月 ４日(月)～ ３月 ８日(金)の平日 １６：００～２１：００

②数値目標を伴わない節電

期間：上記の７％以上の節電期間・時間を除く １２月３日(月)～３月２９日(金)の平日 ８：００～２１：００

- ２）東北・東京・中部・関西・北陸・中国・四国・九州電力管内

(本所、育種センター、整備センター本部、北海道以外の支所・育種場・整備局他)

①数値目標を伴わない節電

期間：１２月 ３日(月)～３月２９日(金)の平日 ９：００～２１：００

(九州電力管内のみ ８：００～２１：００)

(注) 農林水産省からの通知文書を１１月７日にサイボウズ掲示板に掲載していますので、節電対策の参考してください。

農用地総合整備事業「美濃東部区域」の完工式について

独立行政法人森林総合研究所が、旧緑資源機構から承継した農用地総合整備事業の最後の地区である「美濃東部区域」が、平成 24 年度に完了の運びとなりましたので、完工式を行います。

1 「美濃東部区域農用地総合整備事業」の事業概要

- ・ 目 的 農用地の整備と基幹的農業用道路の整備を一体として、総合的かつ集中的に実施することにより、区域の農業生産性の向上と農業構造の改善を図るとともに、地域の活性化に資する。
- ・ 工 期 平成 10 年度～平成 24 年度
- ・ 事業費 395 億円
- ・ 関係市町村 岐阜県関市、中津川市、恵那市、郡上市、下呂市、白川町、東白川村
- ・ 事業内容 区画整理 122ha、暗渠排水 33ha、農用地造成等 7ha、農業用道路 23km

2 今後期待される事業効果

- ・ 東西回廊となる農道の整備による流通の大幅改善と中山間地域の農林業振興
- ・ 地域特産物の高品質化と 6 次産業化（例：ブランド茶の機械化営農と迅速な加工）
- ・ 全国棚田百選「坂折棚田」の保全整備を契機とした都市農村交流の拡大
- ・ 地区児童を対象とした「田んぼの生きもの調査」、「田植え体験学習」等の定着

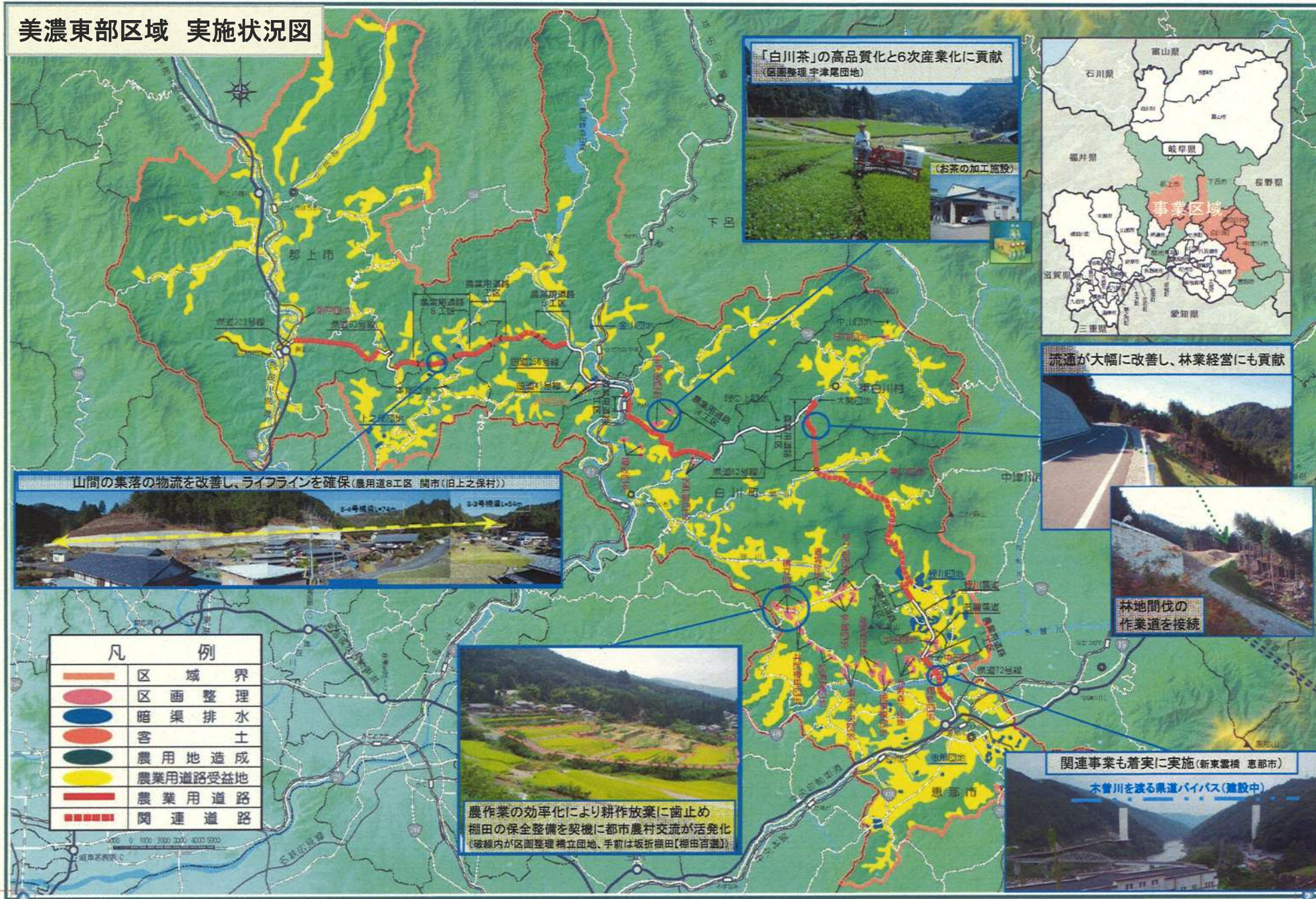
3 林業分野との連携

- ・ 本事業による農道と、関連道路（県・市町村事業）の整備が、地域物流を改善し、林業経営への貢献に期待
 - 農道を活用した間伐作業の効率化
 - 森の発電所(森林資源活用センター)と製材工場の連携強化による木材資源の活用に貢献

4 完工式

- ・ 期 日 平成 24 年 11 月 27 日(火) 13 時 30 分～15 時頃
- ・ 会 場 郡上市総合文化センター
- ・ 招待者 地元国会議員、岐阜県関係者、受益市町村関係者、東海農政局、土地改良区、農業協同組合、森林組合、受益者ほか
なお、森林総合研究所からは、理事長、森林農地整備センター所長が出席

美濃東部区域 実施状況図



主要行事(2012年10月10日～2012年11月19日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
10月10日(水)	第6回理事会	理事長、各理事、両監事
11日(木)	森林総合研究所 公開講演会「巨大災害と森林 復興と再生をめざして」	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事、両監事
13日(土)	樹木医研修面接(第Ⅰ期)	理事長
13日(土) ～14日(日)	「漆サミット 2012 in 浄法寺」	研究担当理事
15日(月)	樹木医研修開講式(第Ⅱ期)	理事長
17日(水)	(公社)日本木材加工技術協会第30回記念年次大会	理事長
	(社)全国木材組合連合会 全国木材産業振興大会	企画・総務担当理事
19日(金) ～20日(土)	応用森林学会大会	研究担当理事
22日(月)	(財)林学会理事会・評議員会	理事長
	(公財)イオン環境財団生物多様性みどり賞受賞者フォーラム2012	研究担当理事
23日(火) ～24日(水)	環境三所連絡会	理事長
23日(火)	新たな世界自然遺産候補地の考え方に係る懇談会	研究担当理事
25日(木)	防災訓練	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事
26日(金)	産業技術総合研究所オープンラボ視察	研究担当理事
27日(土)	樹木医研修面接(第Ⅱ期)	理事長
28日(日)	第17回親林の集い	林木育種センター所長
29日(月)	(公社)大日本山林会130周年記念シンポジウム	理事長
31日(水)	(公財)旭硝子財団ブループラネット賞表彰式典	研究担当理事
11月1日(木)	森林総合研究所創立記念式典	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、林木育種センター所長
5日(月)	庁議	理事長
5日(月) ～8日(木)	世界遺産条約採択40周年記念最終会合	研究担当理事
6日(火)	森林農地整備センターシンポジウム	企画・総務担当理事、森林農地整備センター所長
7日(水)	森林・木材・環境アカデミーシンポジウム	理事長、企画・総務担当理事

月 日	行 事 内 容	出 席 者
11月8日(木)	樹木医制度審議会	理事長
10日(土) ~11日(日)	樹木医学会理事・評議員会、樹木医学会大会	理事長
11日(日)	全国育樹祭(静岡県)	研究担当理事
14日(水)	環境研究シンポジウム	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、業務承継円滑化・適正化担当理事
15日(木)	研究評議会	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、林木育種センター所長、森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事、両監事
	第2回研究所会議	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、林木育種センター所長、森林農地整備センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事、両監事
16日(金)	業績審査委員会	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、林木育種センター所長
	環境委員会	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事、林木育種センター所長、業務承継円滑化・適正化担当理事
	産学官連携推進会議	理事長、企画・総務担当理事、研究担当理事
19日(月)	自然再生専門家会議現地調査	理事長
	(公社)大日本山林会全国林業経営推奨行事賞状伝達・贈呈式	研究担当理事